

～東日本大震災 被災地の今～ 被災地派遣職員から…

笠間市では、東日本大震災により被災した市町村の復旧の一助となるべく、平成24年度から岩手県宮古市と宮城県多賀城市に職員を派遣しています。派遣されている2人は平成25年4月から被災地に赴任し、現地の職員と共に、税金の相談や土地・家屋の調査、雨水を河川に排出するための工事にあたるなど、復旧復興に尽力しています。



まえの つとむ
前野 勉さん
(石岡市在住)

【被災地の現在の状況】

震災から3年目を迎え、被災施設等の復旧も進み、主要産業である水産業の水揚げ等も回復傾向にあります。また、仮設住宅に住む被災者の住宅再建および災害公営住宅への入居に向け、高台移転のための宅地等の造成工事も着工されており、復興へ向けたさまざまな事業が急ピッチで進められている状況です。

【市役所での仕事】

土地、家屋の調査。国土調査事業に係る異動処理。資産税に関する相談。

【今、思うこと】

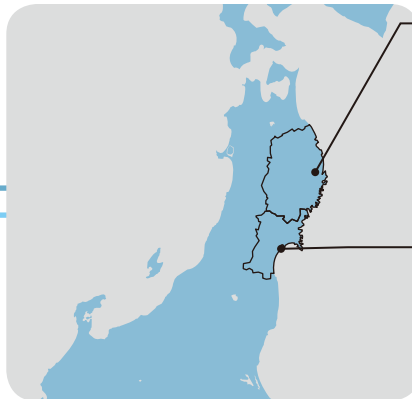
復興が進むなか、仮設住宅に住む被災者の方々は、既に自力で再建された方もいますが、多くの方々は市が着工している高台移転等公共事業の完了を待っている状況にあります。しかし、事業が完了しても住宅再建や災害公営住宅へ入居するまでには、まだ数年を要することから、復興までにはまだ長い時間が必要であると感じています。早期復興を目指し、地域の方々と共に頑張りたいと思います。

【被災状況】

津波の最大波：8.5m以上
死者数：517名
行方不明者数：94名
仮設住宅：約1,600世帯、約3,700人が入居



2年4か月ぶりに再開した
宮古市広域総合交流促進施設
「シートピアなあと」



岩手県宮古市

人口：57,655人（平成25年7月1日現在）
面積：1,260km²
位置：岩手県沿岸部のほぼ中央に位置し、本州最東端の街。県庁所在地である盛岡市から宮古市内中心部まで約100km。

宮城県多賀城市

人口：62,536人（平成25年7月1日現在）
面積：19km²
位置：宮城県の中央部に位置し、仙台市と隣接していることから、ベッドタウンとして発展してきた街。

【被災状況】

津波の最大波：4.6m以上
市内の1/3以上が浸水
死者数：188名
仮設住宅：約1,285世帯、1,975人が入居



たなか ひろし
田中 博さん
(寺崎在住)

【被災地の現在の状況】

被災した施設などの復旧や幹線道路、雨水幹線整備等は100%近くまで進み、震災前と同じ状況に整備されているように見えます。

一方、下水道については汚水幹線整備の復旧が約12%と遅れているため、排水機能が低下し、市民生活に支障をきたしている状況です。

また、海拔0mであった街が震災の影響で地盤沈下したため、降水量が多い時は市内数箇所が冠水し、雨水等を河川へ強制排出する状態が続いています。

【市役所での仕事】

雨水等を河川に強制排出するための雨水ポンプ増設工事の監督業務

【今、思うこと】

震災から2年4か月が過ぎ、何も無かったかのように生活をしている今日ですが、仮設住宅にて生活を余儀なくされている市民の方も多くいます。復興事業に関しては難題も多く、いまだ手つかずの地域が多いのが現状です。残された派遣期間、市民の方が安心して生活ができるよう一日も早い復旧に努めたいと思います。



工事の打合せの様子

らくようかん
楽腰館

東平鍼・灸接骨院

笠間市東平2丁目12番8号

TEL 0296-77-9939

休診日/木曜日

土・日 診療中!

県立中央病院通り沿い

●往療可

●急患受付

●通院送迎実施中(無料)

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00～12:30	○	○	○	/	○	○	○
午後2:30～ 8:30	○	○	○	/	○	○	○